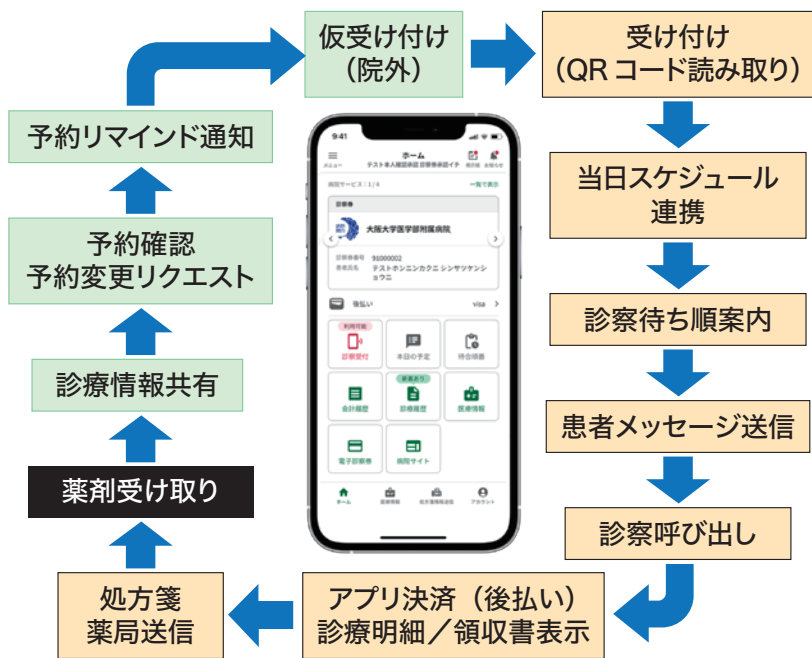


外来患者さんの4割が利用 患者支援アプリ「welcne(ウェルコネ)」



登録者数3万人突破!



●緑色の機能の利用は免許証等による本人確認(本登録)が必要です。

ウェルコネアプリの
インストールはこちらから



受診前日に通知、会計は後払い

本院では、患者さんの外来受診の負担を減らし、より快適に受診していただくため、患者支援スマートフォンアプリ「welcne(ウェルコネ)」を提供しています。おかげさまで2024年3月の導入から2年間で登録者数は3万人を突破しました。現在、外来患者さんの約4割が利用しており、1日500人以上の患者さんがアプリ決済(後払い)を活用されています。「待ち時間を有効に使いたい」「会計を待たずに帰りたい」という方は、ぜひご利用ください。

QR読み取りで受け付け

ウェルコネアプリは診察予約の前日にリマインド通知が届くため、受診忘れの防止に役立ちます。診察当日は、院内に設置されたQRコードをスマートフォンで読み取るだけで受け付けが完了します。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

診察待ち時間にゆとり

外来受診では診察までの待ち時間が発生し、患者さんには大きな負担をおかけしております。ウェルコネでは、診察の順番が近づくスマートフォンで読み取るだけで受け付けが完了します。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

また、2026年2月から、ご自宅など院外から診察の仮受け付けができるようになります。仮受け付けを行うと診察順が確定するため、診察予定時間に合わせてご来

院いただけます。※来院後は、QRコードによる本受け付けを忘れずに行ってください(再来受付機でも本受け付けは行えます)。

マスク着用ルールについて

- ・院内感染対策のため、**市中の感染症流行状況に併せてルールが変わります**。最新の情報は、本院ホームページまたは院内掲示をご確認ください。
- ・**個別の状況**によって、医師の指示でマスク着用をお願いする場合があります。
- ・**せき、くしゃみ、鼻水等の症状がある方は**、「マスクを着用する」「ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う(袖、上着の内側もOK)」などの「咳エチケット」で感染予防をお願いします。



病院再開発基金へのご寄附のお願い

2025年5月に開院した「統合診療棟」では、皆さまからの多大なるご支援により、高度な診療機能の充実と、災害拠点病院としての役割を大きく強化することができました。心より御礼申し上げます。

現在、再開発事業の第2弾として、外来棟跡地に「新病棟」を建設する計画を進めております。1993年の全面移転から30年以上が経過し、現病棟は構造的な制約から、近年の医療ニーズに十分に対応することが難しくなってきました。新病棟の建設を通じて、患者さんにとってさらに快適で安らげる療養環境を提供することを目指しております。

本再開発のコンセプトは、「Futurability——待ち遠くなる未来へ。」です。新たな病棟の建設に向け、今後も大阪大学未来基金「病院再開発基金」への温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▼詳しくはこちらをご覧ください

大阪大学
未来基金



診療情報を家族と共有

お薬の情報や検査結果などをスマートフォンで確認できます。さらに、診療情報共有機能を利用すると、遠方に住むご家族とも受診状況や診療情報を共有できます。日々の健康管理やご家族のサポートにお役立てください。

※検査結果は、医師からの説明後にご確認いただくため、共有まで約1週間いただいております。

予約変更もスマホで

診察予約日の変更が必要になった場合は、ウェルコネから予約変更リクエストを送信できます。変更結果はスマートフォンで確認できます。ご希望に沿えない場合は病院からご連絡いたします。なお、予約日が近い場合は、行き違い

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。

阪大病院では、公共交通機関での来院をお願いしています。



●放射線科部門長
おがわ かずひこ
小川 和彦

診療部門長
ごあいさつ

放射線科部門は様々な高精度の診断機器や治療機器を使用して画像診断や治療を行っており、放射線診断・IVR科、放射線治療科、核医学診療科で構成されています。放射線診断・IVR科ではCT、MRI、核医学(PETなど)等の画像診断と、画像誘導下で行う局所治療(IVR)を行っています。

放射線治療科では、悪性腫瘍(がん)に対する強度変調放射線治療(IMRT)や定位放射線治療などの高精度放射線治療や、放射線同位性元素を用いた核医学治療を行っています。

核医学診療科では核医学診断・治療を担っています。今後とも、正確な診断・治療を提供することにより、患者さんの診療に貢献したいと考えております。(令和8年7月1日就任)



患者図書コーナー 広くなって1階へ

図書コーナーは、2025年12月に旧外来棟3階から旧外来棟1階(旧放射線部の場所)へ移転しました。以前より倍以上の面積になり、本を閲覧していただけるテーブルも増えました。

絵本や小、中学生向けの読み物も含めて寄贈本も増え、わかりやすい場所に移転しましたので、連日たくさんの方にご利用頂き、患者さんから感謝のお言葉も頂戴しております。



統合診療棟
への通路

接続パス直線化

今年秋～来年夏(予定)

工事

2025年5月に「統合診療棟」が竣工しましたが、旧外来・中央診療棟と接続する通路(接続パス)は迂曲しており、病棟と統合診療棟間の患者さんの搬送に時間を要しています。また、当該通路は将来の新病棟整備計画で撤去予定のエリアです。これらの課題を解消するため、2026年秋から2027年夏にかけて、接続パス(3・4階)の直線化工事を実施する予定です。

工事期間中は旧外来・中央診療棟のエレベーターのうち1台を工事用として占有するほか、一部工事動線が患者さんの動線と重複するなど、ご不便をおかけしますが、完成後は病院スタッフの利便性が改善し、搬送時間の短縮により、医療安全の向上が期待されます。本院の将来の計画に向けて、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

す。お車で来院される場合でも、ウェルコネの仮登録やアプリ決済(後払い)を利用して院内の滞在時間を短くしていただくことで、駐車場の混雑緩和につながります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

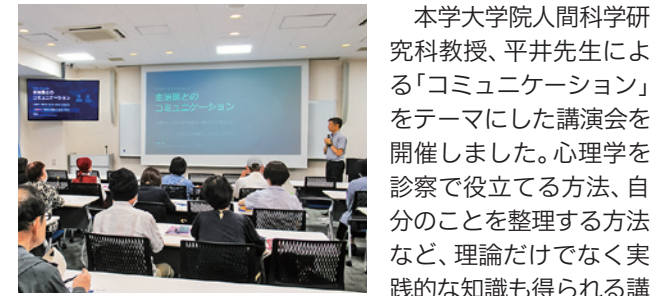
本院では、患者さんがより安心・快適に受診できるよう、今後もウェルコネの機能改善を進めてまいります。ぜひ、ご自身やご家族のスマートフォンでウェルコネをご活用ください。皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。



あたたかな陽射し、さわやかな風の中、子どもたちは、風あげやシャボン玉、フリスビーや輪投げ、よつばのクローバー探しなど、ご家族・入院仲間・医療スタッフと一緒に、桜が満開のお庭でのひとときを楽しみました。



第36回 阪大病院がんサロンを 6月15日 開催しました。



本学大学院人間科学研究科教授、平井先生による「コミュニケーション」をテーマにした講演会を開催しました。心理学を診察で役立てる方法、自分のことを整理する方法など、理論だけでなく実践的な知識も得られる講演会でした。参加者からも「次の診察に活かそうと思う」などの感想を多くいただきました。

特定行為研修第7期生の 研修が始まりました



特定行為とは、医師が実施している医行為の一部を看護師が行うものです。人工呼吸器の操作、薬剤の調整、動脈血の採血、傷の処置などがあります。研修では医行為を安全、確実に実施するための、理論や実技を学びます。研修を開始し7年目となる今年度は、院内外23名の研修生を迎え地域医療に貢献しています。

手指衛生遵守率 3位まで表彰



難聴・めまいグループでは慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、耳硬化症などに対する耳科手術をはじめ、人工内耳手術を乳児から高齢者まで実施しています。また補聴器外来、幼児難聴外来、顔面神経外来など、幅広い診療を提供しています。さらに内視鏡を用いた低侵襲手術や、めまい疾患に対する自宅での振記録装置の開発にも取り組んでいます。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、根治性を追求しながら嚥下・発声機能や整容面に配慮し、患者さんの生活の質をできる限り保つ治療を目指しています。近年は咽喉頭腫瘍に対するTORS（ロボット支援下経口的手術）や甲状腺・副甲状腺疾患に対するVANS（内視鏡下頸部手術）など、低侵襲手術にも積極的に取り組んでいます。またヒトパピローマウイルス関連連中咽頭がんに関する臨床研究では世界をリードしています。

本院は、日本国内で実施されているすべての臓器移植（心臓・肺・腎臓・肝臓・脾臓・小腸）に対応できる数少ない医療機関の一つとして、これまで我が国の移植医療を支える重要な役割を担ってきました。こうした背景のもと、移植医療をより安全かつ円滑に提供することを目的に、2003年に移植医療部が設立されました。

また、移植を希望される方々、移植後の生活を送る患者さんに対しては、専任の移植コーディネーターが中心となり、きめ細やかな相談・支援を提供しています。さらに、臓器移植に加えて、血液疾患に対する造血幹細胞移植についてもサポート体制を整えています。

現在、移植医療部は、専任医師2名、看護師長1名、レジピエント移植コーディネーター7名、造血細胞移植コーディネーター1名、非常勤医師2名と、各診療科・部門からのスタッフ17名を合わせた、総勢30名の中央診療部門として運営されています。多職種が一丸となり、質の高い移植医療の提供に努めています。



以下のとおり見学会を開催いたします。普段は入れない場所を見学し、そこで働く医師やスタッフが仕事内容や役割などをわかりやすくご紹介します。ぜひお気軽にお申し込みください。

- 実施日時 10月30日(金) 13時30分開始(3時間程度)
- 申込締切 9月10日(木) 締切厳守
- 対象者 一般市民(成人、個人)
- 募集人数 30名(応募者より抽選のうえ決定)
- 申込方法 QRコードまたは下記URLからお申し込み下さい。
<https://forms.cloud.microsoft/r/JaETVL7eqJ>
メール、ハガキ、お電話でのお申し込みはできませんのでご了承ください。
- 決定通知 ※いただいた個人情報は本見学会以外の目的には使用いたしません。
- 決定通知 結果については当落に関わらず、締切後にメールでお知らせいたします。
- 見学場所 病理部、臨床検査部、薬剤部など(予定)

☆注意事項☆
・見学では、かなりの距離を歩きます。
・今後の感染症等の状況により、開催中止になることがあります。

問い合わせ先
大阪大学医学部附属病院総務課広報評価係
E-mail: ibyou-soumu-kouhyo@office.osaka-u.ac.jp

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、根治性を追求しながら嚥下・発声機能や整容面に配慮し、患者さんの生活の質をできる限り保つ治療を目指しています。近年は咽喉頭腫瘍に対するTORS（ロボット支援下経口的手術）や甲状腺・副甲状腺疾患に対するVANS（内視鏡下頸部手術）など、低侵襲手術にも積極的に取り組んでいます。またヒトパピローマウイルス関連連中咽頭がんに関する臨床研究では世界をリードしています。

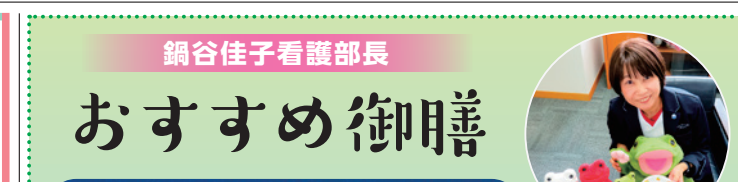


耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、根治性を追求しながら嚥下・発声機能や整容面に配慮し、患者さんの生活の質をできる限り保つ治療を目指しています。近年は咽喉頭腫瘍に対するTORS（ロボット支援下経口的手術）や甲状腺・副甲状腺疾患に対するVANS（内視鏡下頸部手術）など、低侵襲手術にも積極的に取り組んでいます。またヒトパピローマウイルス関連連中咽頭がんに関する臨床研究では世界をリードしています。

臓器移植 多職種連携のハブ 安全、円滑に患者サポート



現在、移植医療部は、専任医師2名、看護師長1名、レジピエント移植コーディネーター7名、造血細胞移植コーディネーター1名、非常勤医師2名と、各診療科・部門からのスタッフ17名を合わせた、総勢30名の中央診療部門として運営されています。多職種が一丸となり、質の高い移植医療の提供に努めています。



以下のとおり見学会を開催いたします。普段は入れない場所を見学し、そこで働く医師やスタッフが仕事内容や役割などをわかりやすくご紹介します。ぜひお気軽にお申し込みください。

- 実施日時 10月30日(金) 13時30分開始(3時間程度)
- 申込締切 9月10日(木) 締切厳守
- 対象者 一般市民(成人、個人)
- 募集人数 30名(応募者より抽選のうえ決定)
- 申込方法 QRコードまたは下記URLからお申し込み下さい。
<https://forms.cloud.microsoft/r/JaETVL7eqJ>
メール、ハガキ、お電話でのお申し込みはできませんのでご了承ください。
- 決定通知 ※いただいた個人情報は本見学会以外の目的には使用いたしません。
- 決定通知 結果については当落に関わらず、締切後にメールでお知らせいたします。
- 見学場所 病理部、臨床検査部、薬剤部など(予定)

☆注意事項☆
・見学では、かなりの距離を歩きます。
・今後の感染症等の状況により、開催中止になることがあります。

問い合わせ先
大阪大学医学部附属病院総務課広報評価係
E-mail: ibyou-soumu-kouhyo@office.osaka-u.ac.jp

6月29日に鍋谷佳子看護部長おすすめ御膳を実施しました。「人気の天ぷらを涼しげで夏らしい料理で楽しんでほしい」というコンセプトから、天ぷらには旬のキス、ズッキーニ、南瓜(かぼちゃ)等を取り入れ、ショウガ風味の枝豆御飯、抹茶ようかんなど、夏を爽やかに彩る献立に仕上げました。小児食には看護部長お気に入りのカエルをモチーフにしたデザートを手作りでご用意しました。患者さんからは「見た目が新鮮で、食欲もわきました」「季節感があって美味しかったです」「枝豆ご飯を自宅でも作りたいと思いました」など、嬉しいご感想をいただきました。